■糖尿病代謝科研修プログラム

1)一般目標

日常診療で頻繁に遭遇する内分泌・代謝疾患に適切に対応できるよう、入院患者の 受け持ちと外来診療によって基本的な臨床能力を身に付ける。

2) 行動目標

<内分泌疾患>

- 1. 身体所見、検査所見の異常から内分泌疾患を発見できる。
- 2. 甲状腺疾患の早期発見と管理ができる。
- 3. 内分泌性高血圧の診断と治療ができる。
- 4. 電解質異常の鑑別診断と治療ができる。
- 5. 下垂体・副腎の画像診断ができる。
- 6. 甲状腺クリーゼ、副腎クリーゼに対処できる。
- 7. 内分泌専門医に適切に紹介できる

<代謝疾患>

- 1. 身体所見、検査所見から糖尿病、高脂血症を発見できる。
- 2. 糖尿病の食事療法・運動療法を指導できる。
- 3. 糖尿病の薬物療法を適切に選択できる。
- 4. 糖尿病性ケトアシドーシスの治療ができる。
- 5. 高脂血症の治療ができる。
- 6. 高脂血症の食事療法・運動療法を指導できる。

3) 研修方法

- 1. 入院患者を数名担当し、上級医、指導医とともに診療にあたる。
- 2. 指導医・上級医の指導のもとに外来患者の診療に参加する。
- 3. カンファレンスで症例を提示する。
- 4. 病棟看護スタッフに担当患者の診断及び治療方針について説明する。
- 5. 糖尿病教室で患者教育を学ぶ。
- 6. 担当した患者に関する文献をインターネットで検索し、科学的に吟味して カンファレンスで紹介し、討論する。

4)評価

- 1. EPOC2で評価する。
- 2. 当科独自の評価

午後

月	火	水	木	金
カンファレンス 回診 外来	カンファレンス 回診 外来	カンファレンス 回診 外来	カンファレンス 回診 外来	カンファレンス 回診 外来
外来 講義	外来	外来	外来	外来
(神経診察) (紹介患者診察)	(神経診察) (紹介患者診察)	(神経診察) (紹介患者診察)	(神経診察) (紹介患者診察)	(神経診察) (紹介患者診察)
1日の総括	1日の総括	1日の総括	1日の総括	1日の総括